

2020年度 第2回8月阪大本番レベル模試地理 採点基準

**1 単答記述問題**

誤字，脱字，漢字間違いは0点。

**2 論述問題**

①「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。

② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

**3 共通減点基準**

① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは1点減点。

② 下線の付け忘れは1点減点。

③ 指定用語不使用は1点減点。

④ 字数オーバーは1点減点。

\*減点しなくていい要素，その他の注意

① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。

② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は0点だが，減点はしない。

③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

④ 文章が未完のものも減点しない。

**4 採点記号について**

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実に誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

## 5 設問別加点基準

- 1)                     部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」が「 B 」→1点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば1点加点する。
- 5) [指定語句] は、文中のどこかで使用していれば減点しない。

### (I) 配点 50 点

#### 問1 15 点

※[指定語句] 生物の種類と遺伝子 二酸化炭素 アグロフォレストリー

3つ全て 下線不要

生物の種類と遺伝子が豊富な熱帯林の破壊は、生態系の維持に不可欠な生物多様性を損なうほか、光合成で吸収される二酸化炭素を減らし、地球温暖化を加速させる。アグロフォレストリーは、樹木を伐採したら植林をし、木が育つまで樹間で農作物を育てるなど、熱帯林の保護と農林業を両立させる経営のあり方として期待される。

#### 【加点ポイント】

##### i) 地球環境への悪影響について (10 点)

- ① 生物の種類と遺伝子の種類を損なう／生物多様性を損なう  
／生態系を破壊する →5 点
- ② 二酸化炭素の吸収量を減らす／二酸化炭素を吸収する光合成量が減る →3 点
- ③ (②により) 地球温暖化が加速する →2 点

##### ii) 熱帯林保護につながる経済活動について (5 点)

- ① アグロフォレストリー →1 点
- ② (①の説明) 樹間で農作物を育てる／植林後、木が育つまで樹間で作物や家畜を育てる  
(※「林業と農牧業の両立を図る」のみ →2 点) →4 点

#### 問2 15 点

焼畑農業は、ラトソル等の痩せた土壌が分布する熱帯林の地力を補うべく、樹木を伐採して焼き、その灰を肥料とする農業である。数年の耕作を経て地力が衰えると農地を移動し、放棄された土地は森林の回復後に再利用されてきた。しかし、近年は人口密度の増加で十分な休耕期間をとれなくなり、森林が回復しにくくなっている。

【加点ポイント】

i) 熱帯林地域で行われる理由について (3点)

- ① 土壌がやせている／土壌の地力を補うため →2点
- ② (①について) ラトソル／鉄分が多い／酸性土壌／多雨により養分が流出した →1点

ii) 焼畑農業の特色 (7点)

- ① 樹木を焼いた灰を肥料とする／草木灰を肥料とする →3点
- ② 地力が衰えると農地を移動する／農地は数年で放棄される →2点
- ③ 森林が回復すると再利用される／樹木が育つと再び焼畑が行われる  
／休耕期間を経て再び焼畑が行われる →2点

iii) 近年の問題点 (5点)

- ① 十分な休耕期間がとれない／森林が回復しないまま焼畑が行われる  
／焼畑と休耕のサイクルが短縮している  
／焼畑に使用される森林面積が拡大している →3点
- ② (①の背景) 人口密度の増加／人口の増加／人口爆発 →2点

問3 20点

東南・南アジアの潮間帯にはマングローブ林が発達しており、木々の落とす枝や葉の腐植が魚介類の栄養素となってきたが、日本などへ輸出するエビの養殖池の造成により破壊が進んだ。一方、三陸地方では、山林の落葉広葉樹が、材木としての利用価値が高い針葉樹に植え替えられたことで腐葉土が減少し、養殖業の営まれる海域まで河川が運ぶ栄養素が減ってしまった。以上のような背景から、両地域では植林活動が行われるようになった。

【加点ポイント】

i) 東南・南アジアの潮間帯 (③) について (10点)

- ① (森林の特徴) マングローブ／マングローブ林 →2点
- ② (①の役割) 落ち葉などが汽水域 (河口付近／養殖池) の栄養素となる  
／根の隙間が魚などの生息域となる／土壌流出を防ぐ  
／海岸を侵食から守る／防風・防波／高波や高潮の被害を防ぐ →3点
- ③ (破壊の要因) 養殖池の造成 →3点
- ④ (③について) えび (の養殖) →1点
- ⑤ (③について) 輸出用／日本が輸入する →1点

ii) 三陸地方 (④) について (10点)

- ① (落葉広葉樹の役割) 腐葉土が栄養分となる／落ち葉が地下水の栄養分となる →3点
- ② (①は) 河川により海域まで運ばれる →3点
- ③ (①が減少した背景) 山林が針葉樹に植え替えられた →2点
- ④ (③の理由) 針葉樹は材木として利用される／針葉樹は生長が早い →2点

(II) 配点 50 点

問1 15 点

東京は、旧イギリス領のホンコンやシンガポールと違って英語を使用できる人材の割合が低く、国際的な商取引をしにくい。また、都心から遠い、利用料が高い等の理由で成田国際空港のハブ空港化が近隣諸国の国際空港よりも遅れており、大きなハブ空港を持つホンコンやシンガポールよりも世界の主要都市からアクセスしにくい。

【加点ポイント】

i) コミュニケーション面について (5 点)

- ① 英語を使用できる人材が、ホンコン・シンガポールは多く、東京は少ない →3 点
- ② (①の背景) ホンコン・シンガポールは旧イギリス領である  
／ホンコン・シンガポールの旧宗主国はイギリスである →2 点

ii) 交通面について (10 点)

- ① ホンコン・シンガポールはハブ空港を持つ →3 点  
↓ ※ (単に「空港」「大空港」など →2 点)
- ② 成田国際空港のハブ空港化が遅れている／成田国際空港は不便である →2 点  
↓ ※ («成田空港」で可)
- ③ (②の理由) 都心から遠い／都心からのアクセスが悪い →3 点
- ④ (②の理由) 利用料が高い／利用時間の制約がある (24 時間の離発着ができない)  
→2 点

問2 20 点

ロンドン都市圏の再開発では、既成市街地の無秩序な拡大を防ぐために、それを囲む緑地帯が設けられた。また、その外側の郊外には、過密化した都心から人口を吸収するために職住近接型のニュータウンが建設された。一方、都心では、テムズ河畔のドックランズで古い造船所や倉庫を一掃して高層ビル等を建設する再開発が進んだ。その結果、開発された時期の古いシティを離れ、より近代的なドックランズにオフィスを移す企業が増えた。

(※次ページに続く)

【加点ポイント】

i) ロンドン都市圏の再開発について (10点)

- ① (再開発の背景) 都心部の過密/都心への人口集中 →2点
- ② (再開発の内容) 緑地帯/グリーンベルト/林地や公園 が設けられた →2点
- ③ (②の理由) 市街地の拡大を防ぐ/スプロール現象を防ぐ →2点
- ④ (再開発の内容) ニュータウンが建設された →2点
- ⑤ (④の特徴) 職住近接型/ニュータウンにオフィス・工場なども併設された →2点

ii) シティから移転する企業が増えた理由について (10点)

- ① 都心の再開発が進んだ/ドックランズが再開発された/テムズ河畔が再開発された  
/ウォーターフロント開発が進められた →2点
- ② (ドックランズの以前の特徴) 古い造船所/倉庫/荒廃してスラム化 →3点
- ③ (ドックランズの再開発後) 高層ビル/近代的オフィス/インテリジェントビル  
/新交通システムの整備/地下鉄の延長 →3点
- ③ (シティの特徴として) 開発された時期が古い/オフィスが老朽化した  
/ICTなどの設備が古い →2点

問3 15点

アメリカ合衆国の黒人の大半は、綿花農園等で働く奴隷としてアフリカから連行された人々の子孫である。奴隷解放後も所得水準が低く、様々な差別を受けてきた。ハーレムはニューヨークに形成された黒人の集住地区であり、人種差別の撤廃を訴える公民権運動の中心地、あるいはジャズ等の黒人文化の発信地として機能してきた。

【加点ポイント】

i) アメリカ合衆国での黒人社会の形成について (5点)

- ① 奴隷として連行された/奴隷貿易による/労働力として導入された →2点
- ② (①の出身地) アフリカ/ギニア湾沿岸 →1点
- ③ (①の使用先) 綿花農園/綿花のプランテーション/鉱山 →2点

ii) 黒人の境遇について (4点)

- ① 所得が低い/低賃金 →2点
- ② 人種差別の対象となった/差別された →2点

iii) ハーレム地区について (6点)

- ① (ハーレムは) 黒人の集住地区である/黒人の住民が多い  
/黒人のビジネスの中心地である →2点
- ② 公民権運動の中心地である/人種差別撤廃運動の中心地となった →2点
- ③ 黒人文化の発信地となった/ジャズなどブラックカルチャーの中心地となった  
/1920年頃の黒人文化の全盛期はハーレム・ルネサンスと呼ばれた →2点